

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	直接および間接受益者の生活が改善する
(2) 事業内容	<p>下記の通り活動を実施した。なお、事業内容は別添1を、事業の内容および効果に関する写真は別添2を参照されたい。</p> <p>活動1. 健康教育</p> <p>1-1. 健康教育教材の作成 1-2. 健康教育事前事後テストの作成 1-3. 健康教育事前テストの実施 1-4. 健康教育の実施（活動実績2年以上の36村） 1-4-1. ピアエデュケーターの選出 1-4-2. ピアエデュケーターに対する健康教育研修の実施 1-4-3. ピアエデュケーターによる健康教育の実施 1-5. 健康教育の実施（活動実績2年未満の13村） 1-6. 健康教育事後テストの実施</p> <p>活動2. 農業研修</p> <p>2-1. 農業研修専門家の雇用 2-2. 研修内容、事前事後テストの策定 2-3. 研修教材の作成 2-4. 研修日程の調整 2-5. 農業研修初級コースの開催 2-6. 農業研修専門家によるモニタリング</p>
(3) 達成された効果	<p>中間報告時点で、下記の通り成果が確認されている。</p> <p><u>プロジェクト目標</u> 直接および間接受益者の生計（生活）が向上する</p> <p>(指標1) 直接受益者の3割が適切な保健行動を取る</p> <p><u>達成傾向</u></p> <p>生活習慣調査及びPHI (Personal Household Information) 調査は2012年3月に実施予定だが、これまでのモニタリングにおけるインタビューによると、手洗いや洗髪などの個人衛生、台所の清掃や飲料水用コンテナの洗浄、蚊の発生を減らすための水場の処理といった、環境衛生に関連した行動変容が確認されている。</p> <p>(指標2) 研修参加者の5割が生計手段・収入を拡充できる</p> <p>本指標については2012年3月に実施予定のPHI調査によって判断する予定である。本事業報告期間においては、農業研修を受講した受益者の47%が、収入を向上させるために短期農業融資を利用し、研修で身に付けた技術及び知識を取り入れた生計活動をすでに実施していることが確認されている。</p> <p><u>成果1. 直接受益者の基礎保健知識が向上する</u></p> <p>(指標1-1) 8割の直接受益者が健康教育に参加する</p> <p><u>達成傾向</u></p> <p>6月から9月までに健康教育を実施し、下記の通り受益者が参加した。</p> <p>栄養（脚気予防）： 6月：1,781人（91%） デング熱： 7月：1,786人（91%）、8月：1,780人（91%）、9月：1,775人（90%）</p>

	<p>(指標 1-2) ピアエデュケーターに選ばれた直接受益者の 8 割が適切に健康教育を実施できる</p> <p><u>達成傾向</u> 健康教育の知識、ピアエデュケーションの技術（コミュニケーション、マネジメント能力など）を点数化するモニタリング調査によると、93%のピアエデュケーターが適切に健康教育を実施している。</p> <p>(指標 1-3) 健康教育事後テストの正解率が 8 割を超える</p> <p><u>達成傾向</u> 健康教育事前事後テストによると、正解率が下記の通り上昇している。 栄養（脚気予防）：7%→62% デング熱：31%→80%</p> <p><u>成果 2. 直接受益者の農業に関する知識と技術が向上する</u></p> <p>(指標 2-1) 活動実績 2 年未満の村 (13 村) の受益者の 40%が農業研修初級コースを受講する</p> <p><u>達成</u> 13 村の受益者 651 人中 304 人 (46%) が農業研修に参加した。284 人が有機農業を中心とした 2 日間の農業研修を受講し、20 人は狭い土地でも栽培可能なマッシュルームの栽培方法を学んだ。</p> <p>(指標 2-2) 研修参加者の 50%が、研修で得た知識と技術を生計向上のために利用できる</p> <p><u>達成傾向</u> 研修終了から 1~3 か月の現時点で、研修参加者 304 人のうち 144 人 (47%) が研修で学んだ技術及び知識を利用している。また、短期農業融資を活用して 75 人がボカシ堆肥づくりを、69 人 (マッシュルーム栽培研修には参加しなかったが、20 人の参加者から栽培方法を学んだ受益者を含む) がマッシュルームの栽培を開始している。今後も農業研修専門家を中心にモニタリングを実施し、助言を行い、研修で学んだ技術や知識を適切に活用できるように支援する。</p>
(4) 今後の見通し	<p>事業は計画通り進捗しており、今後も引き続き、以下の活動をタイムテーブルに沿って実施していく。</p> <p><u>活動 1. 健康教育</u> 教材及びテストの作成、健康教育及び母子保健啓発ミーティングの実施、事前事後テストの実施、健康コンテストの開催</p> <p><u>活動 2. 農業研修</u> 農業研修専門家による継続モニタリング、スタディツアーの開催</p> <p><u>活動 3. 畜産研修</u> 専門家の雇用、研修内容及びテストの策定、教材作成、研修開催、モニタリング</p> <p><u>活動 4. 成果発表会の開催</u> 成果発表会及び事業成果発表会の開催</p>